

# テレメトリブローカでのパスワードリセットの実行

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[CLIユーザパスワードのリセット](#)

[Webユーザパスワードのリセット](#)

[関連情報](#)

---

## はじめに

このドキュメントでは、特定のCisco Telemetry Broker(CTB)アプライアンスでパスワードリセットを実行する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- 基本的なLinux管理
- 基本的なCisco Telemetry Brokerアーキテクチャ
- パスワードのリセットを実行するには、目的のアプライアンスにコンソールからコマンドラインインターフェイス(CLI)にアクセスする必要があります。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- バージョン2.0.1を実行しているCTB Managerノード。
- バージョン2.0.1を実行しているCTB Brokerノード。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

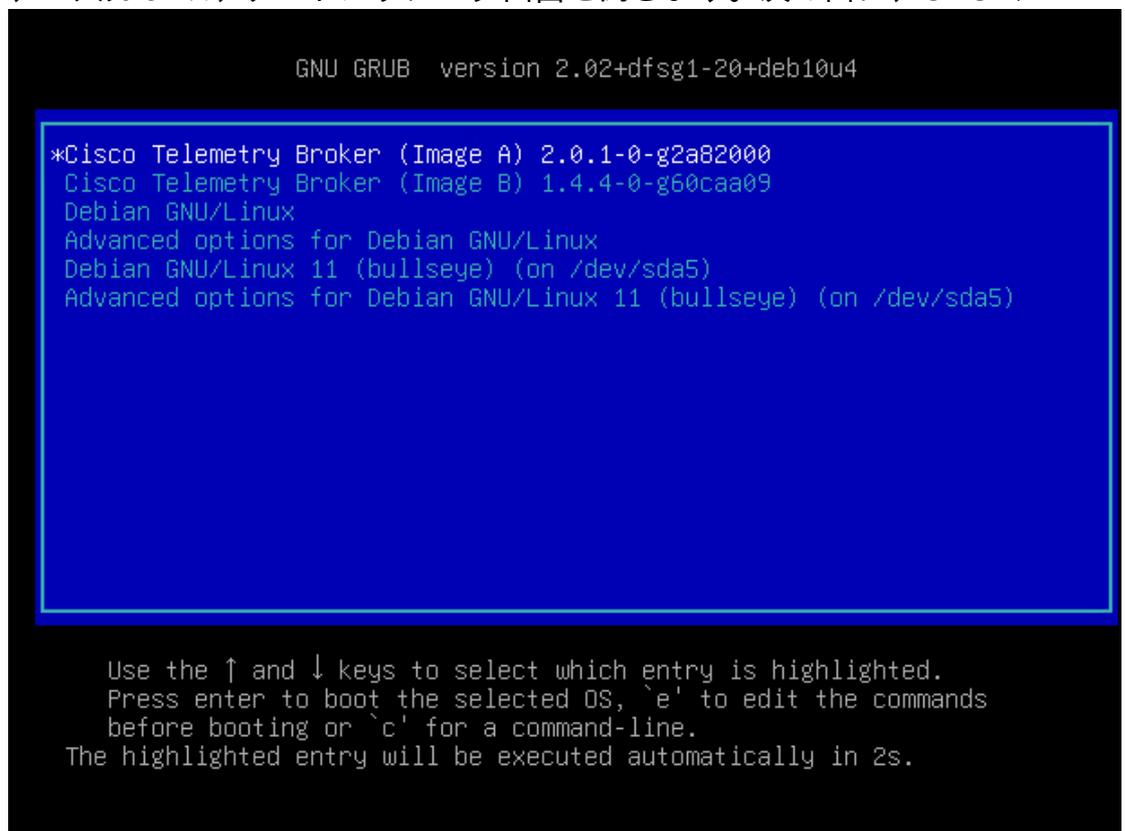
# 設定

パスワードは、ユーザごと、admin、rootおよびwebadminごとに個別に実行できます。Webユーザwebadminは、CTBのマネージャノードでのみ使用できます。とadminrootのCLIユーザは、マネージャノードとブローカノードの両方で使用できます。

## CLIユーザパスワードのリセット

CLIユーザパスワードをリセットするには、次の手順を実行します。

1. コンソール接続を介して目的のノードに接続します。
2. コマンドを入力して、ノード `sudo shutdown -r now` をリブートします。
3. GRUBメニューで、`e` と入力して、ブートパラメータ画面を開きます。次の図に、GRUBメニュー



一の例を示します。

CTBノードのGRUBメニューの例

4. で始まる行を探し、`linux` と入力します。行の最後にカーソルを置き、`init=/bin/bash` と入力します。上記の文字列の前にスペースがあることを確認します。次の図に、追加されたパラメータが画面でどのように表示されるかを示します。

GNU GRUB version 2.02+dfsg1-20+deb10u4

```
setparams 'Cisco Telemetry Broker (Image A) 2.0.1-0-g2a82000'  
set root=(hd0,gpt2)  
linux /vmlinuz-5.10.0-21-amd64 root=/dev/sda4 debian-installer=en_US.UTF\ -8 nopku intel_iommu=on iommu=pt init=/bin/bash_  
initrd /initrd.img-5.10.0-21-amd64
```

Minimum Emacs-like screen editing is supported. TAB lists completions. Press Ctrl-x or F10 to boot, Ctrl-c or F2 for a command-line or ESC to discard edits and return to the GRUB menu.

パラメータ画面と追加オプション

5.設定済みパラメータを使用してノードを起動するには、`Ctrl+X`を入力します。

6. Debianのルートシェルで、コマンド`mount -n -o remount,rw /`を入力してルートファイルシステムを再マウントします。次の図に、出力例を示します。

```
root@(none):/# mount -n -o remount,rw /  
[ 72.706297] EXT4-fs (sda4): re-mounted. Opts: errors=remount-ro
```

remountコマンドの出力

7.目的のユーザーのパスワードをリセットします。ユー`root`ザのパスワードをリセットするには、コマンドを入力し`passwd`ます。ユーザーのパスワードをリセットするには`admin`、コマンドを入力`passwd admin`します。複雑なパスワードに対する通常の要件はそのまま適用されることに注意してください。次の図に、両方のユーザのパスワードリセットの例を示します。

```
[ 72.706297] EXT4-fs (sda4): re-mounted. Opts: errors=remount-ro
root@(none):/# passwd
New password:
Retype new password:
passwd: password updated successfully
root@(none):/# passwd admin
New password:
Retype new password:
passwd: password updated successfully
root@(none):/# _
```

両方のCLIユーザのパスワードリセット例

8. WindowsまCtrl+Alt+DelまたはMacでを入力してCtrl+Option+Del、ノードを再起動します。

## Webユーザパスワードのリセット

パスワードをリセットするには、webadmin次の手順に従います。

- 1.SSHまたはコンソールを介してadmin、ManagerノードのCLIに接続します。
- 2.コマンドでrootユーザに切り替えます `sudo su`
- 3.ディレクトリを変更するコマンド`cd /opt/titan/compose`を入力します。
- 4.コマンドを実行して、Webユーザ`docker-compose run --rm titanium ./manage.py changepassword webadmin`のパスワードをリセットします。複雑なパスワードに対する通常の要件はそのまま適用されることに注意してください。次の図は、パスワードが正常にリセットされた場合の例を示しています。

```
admin@ctb-w9Rvhi10:/opt/titan/compose$ sudo docker-compose run --rm titanium ./manage.py changepassword webadmin
[+] Running 3/0
 # Container redis      Running
 # Container postgres  Running
 # Container metrics_db Running
Changing password for user 'webadmin'
Password:
Password (again):
Password changed successfully for user 'webadmin'
```

## 関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。